



SAKAI DESIGN ASSOCIATION / 堺デザイン協会

VOL. **29**
DEC. 2012
会報 S.A.D.A.

■ 堺市長表敬訪問 ■ 第1回 エネルギーデザインミーティング ■ 「堺もん」商標登録完了

Design of the people, by the people, for the people.

Design Your Energy ~ 夢ある明日を ~



大阪ガス 泉北天然ガス発電所

堺デザイン協会 賛助会員 / 大阪ガス株式会社

堺デザイン協会顧問 竹山修身市長表敬訪問

理事長 岡村 筍



堺デザイン協会が発足して以来
もうすぐ三十年を迎えようとして
います。その間時代も変遷しまし
たが歴代市長がひき続いて変わら
ず協会のために顧問として応援し
てくださることは何にも代えがたい
名誉と誇りとなっています。改めて
厚く御礼もうしあげます。

デザインという言葉の歴史はせいぜい
五十年ほどですが人の感性から出発
する人間だけに与えられた豊かな心の
現われでしょうか。「心に触れる」
ことが極端に少なくなった昨今、
発信する側もそのボールを受け取る
人も直接心に届く対話をしてみたい。
人が感動するいいものを届けたい。
われわれの仕事のなかでほんの少し
でも人の心を豊かにすることがわれわれ

の仕事に与えられた使命かと想う。
自分の感性に情熱を傾けて打ち込める
のは若いエネルギーかもしれません。
その感性とエネルギーを受け手に
「なるほど」と見てもらえるのは、
プロの技術と熟練かもしれません。

速くて安くて大量には生産の原理
です。私たちの周りを眺めてみると
そればかりでは説明の付かないものが
一杯ある。人間そのものが不合理を
持ち合わせていて、馬鹿げたことも
ゆっくりも自動車から見える景色も
あれば、歩いてしかわからない景色
もある。

人間の感性はゆっくりも不合理も
一緒に心に触れることをみつめて
キャッチボールしようではありま
せんか。



理事 理事 理事 顧問 理事長 理事 副理事長
於：堺市庁舎 写真左から：崎田公明、上野亮、上野あきら、竹山修身 市長、岡村筍、福田繁、岡村哲伸

低炭素社会の 実現に向けて

大阪ガス株式会社
南部地区支配人 隈元英輔



堺デザイン協会会員の皆様方におかれましては、当社の事業活動にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、先日は泉北天然ガス発電所にお越しいただき有り難うございました。大阪ガスは、規制緩和の進展と多様化するお客様のエネルギーニーズに対して、天然ガス、電力、LPG、熱などのエネルギーのベストミックスでお応えするエネルギー事業者として、お客様価値の向上を目指しています。中でも、電力事業は、都市ガス事業に次ぐ重要な事業と位置づけ、本格的な展開を進めています。

このたびお越しいただいた泉北天然ガス発電所は、大阪ガスグループが保有する発電所の中核発電所として建設した110万9,000kWの大規模発電所であり、電力会社以外の会社が保有する発電所としては、最大級の

発電所です。また他燃料に比べて環境に優しい天然ガスを使用することに加え、発電効率の高いガスタービンコンバインドサイクル発電方式の採用により環境負荷の少ない火力発電所です。

これからはエネルギーのベストミックスと有効利用がますます重要になり、これに適した天然ガスへの期待が今まで以上に高まると考えています。当社は、

この天然ガスを利用した環境に優しい電力を安定的にお届けすることで社会に貢献して参りたいと考えております。

特に、工場やオフィスのお客様にはガスコージェネレーションシステムや超高効率ガスエンジンヒートポンプ「GHP XAIR(エグゼア)」を、ご家庭に対しては家庭用燃料電池コージェネレーションシステム「エネファーム」や家庭用ガスエンジンコージェネレーションシステム「エコウィル」などをご提案することで更に、低炭素社会の実現に向けて貢献していきたいと存じます。

堺デザイン協会会員各社様のますますのご発展を祈念いたしますとともに、当社の事業活動に対する更なるご支援、ご協力を賜りますことをお願いしましてご挨拶とさせていただきます。

堺デザイン協会が、商標登録 「堺もん®」を取得しました！ 堺もん®四方山話

理事 上野 あきら

こんな「堺もん」も、かつては有ったようです。

日本全国各地に穴子の名産地はあるものの、かつて堺の出島港に水揚げされ、加工された穴子を「堺もん」と呼び穴子好きには特に好まれ喜ばれていたそう、かの北大路魯山人も、その一人だったそうです。

当時の出島には何十件もの穴子加工業者が軒を並べて「堺もん」の穴子を求めてやってくる人々に穴子屋筋と呼ばれていたようです。人間なら煮ても焼いても食えない御仁がおられても、穴子ときたら、煮穴子、焼き穴子、穴子の八幡巻と、何れも旨い物ばかり。堺で穴子一筋の穴子小屋の復活と穴子館で有名な鮎店・・・時代は変わっても旨さの変わらない美食を提供する職人の技と心は、堺に脈々と受け継がれているようです。此処ではメッチャ旨いお店の名前は敢えて伏せさせていただきます。

とにかく、その日のネタが切れれば即閉店で夜には開いているのを見た事がないし穴子小屋は3時には閉店なんて当たり前。地元、堺の美食家の皆様方は、ご存知でしょうが・・・どうしても知りたいて方が居られましたら、内緒で？店名と所在地を、お教えしましょう。

これからは寒くなってきましたので穴子鍋なんかは、どうでしょう？白菜、



菊菜、大根、人参、葱、油揚げ、うどん等、お好みの具材と焼き穴子をタップリ用意して家族で食べれば幸せも倍増しますよ！
うどんの出汁味で、どうぞ召し上がれえ〜ホンマ温まりませ〜ヘルシーなので一度、試してみてくださいいなあ〜オマケで我家の穴子鍋の写真も載せておきます。
尚、堺デザイン協会の商標登録「堺もん®」は賛助会員の企業様にご利用頂き、堺市を全国区にするツールとしてデザインプロデュース致しました。是非とも、この機会にご利用頂きますよう、ご検討ください。豊富なシール、ステッカーのデザインも取りそろえております。賛助会員、個人会員のご入会については事務局までお問い合わせください。

「エネルギー」をデザインする。

第1回 エネルギーデザインミーティング 大阪ガス 泉北天然ガス発電所見学会

平成23年12月1日は堺デザイン協会が大阪ガス泉北天然ガス発電所を訪問、見学した。

実は私、大阪ガスが発電事業をやっていることもそしてその発電所が堺市と高石市にまたがる臨海地区に立地していることも知らなかった。きっかけをつくってくれたのは大阪府建築士会賛助会委員の三谷則子さんである。

賛助会の企業訪問でこの地に泉北天然ガス発電所があることを知り、堺デザイン協会が「エネルギーをデザインする」をテーマにうごきだそうとしていることに思い当たり賛同を得て今回の計画となった。

当日は8台の車に15人が分乗し午後1時45分に大阪ガス泉北製造所正門前に集まり事前に登録しておいた車の番号の照会を受け入場し準備された会議室に通された。以下大阪ガス担当者から受けた説明の概要を列記する。

泉北製造所は第一工場（堺市に立地1971年から稼働開始）と第二工場（高石市に立地1977年から稼働開始）の二つの工場からなっており、約705万戸のお客さまにガスが供給されている。泉北天然ガス発電所1号機、2号機が第二工場の一隅に、3号機、4号機が第一工場の一隅に設置されている。発電規模は4機あわせて110万キロワット（2009年運転開始）にのぼり100万所帯に供給できる能力を有している。



■1号ガスタービン

アテンダントの説明対応つきの見学バスに乗り込み第二工場の海側から時計回りに工場内の案内をうける。そして1,2号機の設置されているタービン建屋へ、さらに3階へガスタービンコンバインドサイクル発電方式の発電機を眺める。過去に同じ規模の発電機に出会ったことがないため比較ができないが15メートル以上あろうかとも思われる発電機が一軸で作動することに驚嘆した。1階まで階段で降り外部の周辺機器の説明を聞きながら再びバスで、会議室のあるガス科学館へ帰る。科学館ではマイナス196度の冷熱の世界を体験し、会議室へそして質疑応答にはいり、活発な意見交換がおこなわれた。

この発電所は電力会社以外の会社が保有する発電所としては、最大級のものであることを聞きながら本日の見学会を終わり、最後に岡村理事長より大阪ガスへ謝礼を述べ、おひらきとする。帰路科学館前にて記念撮影をおこない散会した。



理事 崎田 公明



■参加者記念撮影（マスコットキャラクター「スキッパー」くん）

※通常発電所の中の見学は認められていないのですが、今回特別に許可して頂きました。ありがとうございました。



■1,2号 煙突

「大阪ガス泉北天然ガス発電所見学会」を終えて

平成23年3月11日東日本大地震と大津波によって引き起こされた災害は、人知を超えた自然災害とそれによって引き起こされた放射能被害が生活の場の復旧・復興とは異なる課題を現実のものにしました。

現代生活の根幹を支えるエネルギーを必要とする電気、ガス、水道等々の高度に専門化した製造・供給方法は、利用者とのギャップを再認識させることとなり、製造・供給方法の選択と活用、そして節約を再考する機会を示しました。

過去の歴史に記録された大地震と大津波にも、人知は現実を受け入れ、自然と共生する知恵を積み重ねてきました。そうした中で第1回エネルギーデザインミーティング「大阪ガス泉北天然ガス発電所見学会」は、私たちの身近な場所でエネルギーを製造、供給する方法の多様性を認識する有意義な取り組みとなりました。



副理事長 岡村 哲伸

エネルギーを考える

堺デザイン協会も、遅ればせながらエネルギーについて考えようと、昨年暮れ（12月1日）エネルギーデザインミーティングを行った。第1回は大阪ガス泉北天然ガス発電所の見学会でスタートを切った。天然ガスを燃料とした発電機で、省CO2を売りに、第一工場に2機、第二工場に2機発電機があり、全出力110万kWと言う説明だった。

今、話題の大飯原発は4号機までであるが、各120万kWクラスだから、大飯原発1号機と同じ出力だ。かなり大出力の発電所ということになる。感心しながら見学させてもらった。

堺デザイン協会は、このエネルギーデザインミーティングを各種エネルギー施設の見学会を通し、様々なエネルギーの現状を知り、考えていきます。堺デザイン協会としてのエネルギーについて問題提起してまいりますので、今後のデザインミーティングにぜひご参加を！



理事 福田 繁



■2号排熱回収ボイラ

～人もいろいろ、ロゴも色々～



designed by Shigeru Fukuda



designed by Jun Okamura



designed by Ryo Ueno



designed by Akira Ueno

「堺もん」商標登録完了



特別プロジェクト担当理事
伊藤 浩平

商標登録奮闘記

指定商品又は指定役務並びに商品及び役務の区分

- 第8類 手工工具
- 第24類 織物、家具用織物製カバー
- 第25類 被服、履物
- 第30類 穀物の加工品

2005年11月12日、奈良デザイン協会が設立20周年記念シンポジウムを行いました。堺デザイン協会、京都デザイン協会、神戸デザイン協会、そして奈良デザイン協会の4協会による「近畿圏デザイン協会協議会」が2004年10月に設立され、共同のテーマとして「観光をデザインする」を決定。それに基いた各協会の行動を、この奈良デザイン協会のシンポジウムにてパネル展示しよう、と協議がまとまりました。近畿圏デザイン協会協議会（近デ協）の担当であった私は、そのパネルも担当として作成することになり、さてどうしたものか、堺として何を提案しようかと随分アタマをひねることになりました。

その時に浮かんだアイデアが、「堺を通る歴史的に重要な役割を果たしてきたいくつかの「街道」をテーマに、堺の観光をまとめよう」というものでした。そして、それらを束ねるコンセプトが「堺もん」だったのです。

堺にまつわるすべてのモノ・コト・ヒトが「堺もん」であるという考え方で、それを、パネル4枚にまとめ、シンポジウムで掲示、発表いたしました。あれから足掛け7年。「堺もん」は商標登録として特許庁に承認されました。

商標を堺デザイン協会が持つことで、賛助会員として協会に加盟していただき、その商標を使用する権利を得ていただく。それによって、賛助会員へ貢献でき、また登録企業が増えることで協会も発展し、

それぞれにメリットが生まれるという、夢あふれる事業プランです。とは言っても、そう簡単に商標も取れたわけではありませんでした。

我々が「堺もん」を発表した後に「大阪産（おおさかもん）」というブランドが現れ、先にごんごん参加企業を増やしていきましました。こちらが後出しのような形になってしまい、悔しい思いもしました。しかし、あちらはもうレジストレーションマーク（マルR）がついていない。商標を取っていないんじゃないか。それならば、我々がやるうとしていいる事の方が本道だ！デザイナー集団として、ブランディングとはこうするんだという所を見せつけてやるうじゃないか！と、必死にリサーチを初め、特許庁のホームページと毎晩にらめっこです。出願の仕方もしっかり読み込み、登録する分野（区分）はどれがいいのか、調べまくり、予算の範囲内でどれだけ押さえられるのか、受験のひっかけ問題みたいな文章を理解しようと、研究しまくりました。

そしていよいよ出願を送付し終え、ほっとしたのもつかの間、特許庁から書類が不備だとか、分野の指定がどうかとか、およそ一発では通らないような壁が何度も立ちはだかる。そして、なんとかかめげずにすべてを修正し、提出から待つことおよそ1年。2009年12月18日、みごと商標登録証が送られてきました。4年がかりでやっと漕ぎ着いた、商標。そしてさらに区分を追加する事になり、また同じような難儀を繰り返してついに2012年12月9日、2つの区分を加え4つの区分で商標を取ることができました。これで



ほとんどの堺の伝統的産業をカバーできます。

今後は当初の思惑をどこまで実現できるかにかかってくる。頑張ってください。堺の財産にしていきたいと思っっています。

切れ味のアルス

www.ars-edge.co.jp

創業文化二年

株式会社和泉利器製作所

www.sakai-tohji.co.jp

Design Your Energy 夢ある明日を

www.osakagas.co.jp

さぬき和三家

baikodo031.shop10.makeshop.jp

The Sakai Chamber of Commerce and Industry

www.sakaicci.or.jp

SAKAI DESIGN ASSOCIATION / 堺デザイン協会

www.sakaimon.com



SA.D.A.'s Member

- AKIRA UENO
DAISUKE KISHIMUNE
JUN OKAMURA
KOUHEI ITO
MASAAKI SAKITA
MASAHIKO KUROKAWA
OSAMI TAKEYAMA
RYO UENO
SHIGERU FUKUDA
SHOUZOU OKAMURA
SOTOSHI TAKAGI
TESSHIN OKAMURA

SA.D.A. / VOL.29 編集後記 上野あきら

本年12月で29年目を迎える堺デザイン協会は年に一度のペースで、会報SA.D.A.を発刊して参りました。

小さな歩みではありますが、最初の一步を忘れることなく此処まで歩んで参ることが出来たのも、設立時より賛助会員様の忍耐?と、協会役員並びに正会員のボランティア精神と、当協会顧問をお願いしております歴代堺市長をはじめとする行政の方々のご協力の賜物と存じます。今後とも宜しくお付き合いください。

今回は当協会による商標登録「堺もん®」の取得を中心にステッカーやシールのデザインのお披露目と、今では恒例になりました、会報SA.D.A.表1での賛助会員様ご紹介の第三弾! 大阪ガス株式会社様を掲載させて頂きました。

又、特別に普段見られない工場見学も実施して頂き、感謝の気持ちで一杯です。あらためて御礼申し上げます。